

心の有り様が決める“幸せ”！



「天国と地獄」(心の有り様) ～お話集会より～

ある若者が、「天国」と「地獄」を見せてもらえることになりました。

まず、「地獄」を見に行きました。ちょうど食事の時間らしく、テーブルの上には、美味しそうな料理がたくさん並んでいました。よく見ると、人々の片手はテーブルにくぐられ、右手には長いスプーンを持たされていました。地獄の人たちは、自分の口にご馳走を運ぼうとしますが、自分の口にはどうしても持って行けません。人々はご馳走を前にしながら食べられないことにイラつき、とうとう周りの人と喧嘩になってしまいました。料理はばらばらと床に落ち、喧嘩したあげく、頭はたんこぶだらけになってしまいました。



次に、「天国」を見に行きました。天国も食事の時間でした。見ると、地獄と同じように人々の片手はテーブルにくぐられ、右手に持っているスプーンも何と、地獄と同じ長いスプーンでした。でも、人々は、ニコニコ笑顔で、料理をお

美味しそうに食べていたのです。えっ、なぜでしょう。実は、料理の食べ方が違ったのです。人々は、長いスプーンでご馳走をすくうと、テーブルの向かい側にいる人の口元へ差し出しました。向かい側の人それを美味しそうに食べ、今度は自分のスプーンでご馳走をすくってお返しをしていました。こうして天国の人たちは、全部のご馳走を美味しそうにお腹いっぱい食べることができていたのです。(中略)

みなさん、天国と地獄の様子、頭に浮かびましたか？そして、どんなことを考えましたか？



☆縦割り掃除 ～生まれ始めた絆～

「立腰やめ。無言掃除を始めましょう」リーダーさんの一言で、縦割り(異学年グループ)掃除が始まります。箒が擦れる音、床を拭く微かな音をする中、静かな時間が流れ、協力作業が進みます。やがて、掃除完了。



◎時間までに集合し、静かに待つことができましたか？

◎お喋りをせずに、時間いっぱい頑張ることができましたか？

再びリーダーの声が響く頃には、学校中がすっかり綺麗になり、清々しい空気が流れ、子供たちの満足感溢れる顔が広がります。



上級生が下級生へ向ける優しい眼差し、下級生が上級生に向ける信頼の眼差しが生まれ始めました。

“ほっと一息” ～朝顔の花がさいたよ～

今年も 1 年教室南のベランダに、朝顔とお世話する子供たちの姿が！癒やされます♡
良かったね！毎日水やりしたもんね(*^o^*)！



